

災害に強い関市役所をめざします ～シミュレーションワークショップ～

関市職員防災研修「第2回防災リスクマネジメント研修」

開催日：令和元年10月8日(火)、10月10日(木)
開催場所：わかさ・プラザ 学習情報館「多目的ホール」

関市では平成30年7月豪雨災害を経験し、災害時の初動対応、情報伝達、情報処理、状況判断、行動方針の共有等、様々な点において事前準備や緊急対応における課題が突き付けられました。

豪雨以外にも自然災害が多発する昨今の状況において、関市職員としてより一層の災害対応力の向上が求められる中で、本年6月及び7月に全職員を対象にして第1回の「防災リスクマネジメント研修」を実施したことに続き、市職員も一斉に被災するリスクの大きい地震災害が発生した場合を想定したうえで、**災害対応を考えるワークショップ型の第2回研修を実施**します。

災害への“備え”の重要性を再認識し、市民のみなさまの生命や財産を各種の自然災害から守り、安全・安心な暮らしを実現できる**災害に強い関市役所になることを全職員でめざします。**

■ 関市職員防災研修「第2回防災リスクマネジメント研修」開催概要

- 1 研修名称：関市職員防災研修「第2回防災リスクマネジメント研修」
- 2 対象者：関市正規職員 ※令和元年7月1日時点（事務職、技術職、保健師、保育士、技能労務職等すべて）
→各所属の半数以上の職員の受講をめざします
- 3 日程：令和元年10月8日（火） ※①～⑥はすべて同じ内容
①【午前の部】 10時00分～11時30分
②【午後の部その1】 13時30分～15時00分
③【午後の部その2】 15時30分～17時00分
令和元年10月10日（木）
④【午前の部】 10時00分～11時30分
⑤【午後の部その1】 13時30分～15時00分
⑥【午後の部その2】 15時30分～17時00分
- 4 開催場所：わかさ・プラザ 学習情報館「多目的ホール」
- 5 内容：（1）1グループ6人程度のワークショップ型研修
（予定）（2）時期や時間帯などを条件設定した上で地震発生を想定
（3）発生する事象への対応をグループで検討
（4）「関市地域防災計画」等が被災時に実践的に活用できるものであるかを確認
※ 内容は予定のため変更になる場合あり
- 6 参考情報：第1回研修は6月6日（木）及び7月9日（火）に5コマ（1コマ＝2時間）実施し、合計569名（全職員の約82%）が受講済み。家庭内や職場における防災対策の現状把握と見直しを行った。



ワークショップのイメージ
(北広島市ホームページより)

ポイント

- 【その1】 **第1回研修(6/6、7/9に開催)の学びを踏まえて、第2回を実施**
- 【その2】 **家庭内DIG(災害図上訓練)、災害現場の各種ジレンマの事例を盛り込んだシミュレーション形式のグループワーク**

◆DIG：Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字。地図や見取り図に参加者が書き込み、家庭や地域、職場に潜む災害の危険性を“見える化”して対応を考える。

■ 講師紹介



国立大学法人 岐阜大学
地域減災研究センター／清流の国ぎふ 防災・減災センター
村岡 治道（むらおか はるみち） 特任准教授

■ 地方自治体に対する防災研修や災害対応に対するアドバイスを継続的に行う防災・減災分野の専門家であり、平成30年7月豪雨災害時には、関市内の現地調査を行った経験を持つ。

【専門分野】

■ 自然災害に対して、個人で継続的に行う備え（＝自助）のあり方や効果、必要性に関する啓発活動（防災啓発、減災啓発）

〈本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先〉

関市役所北庁舎3階 市長公室 秘書課 / 担当：若佐・足立 / TEL：0575-23-7710 FAX：0575-23-7744